

土木遺産 XIV

～オセアニア 入植とともに育まれてきた土木技術～

オセアニア。そこはオーストラリア大陸と南太平洋の多くの島々からなる。オーストラリアにはアボリジニ、ニュージーランドにはマオリ等が居住していたが、18～19世紀にヨーロッパ列強の植民地となった。

オーストラリアは1788年頃の入植開始から、また、ニュージーランドは1840年代の組織的植民活動から、近代化の道を歩み始め、それぞれ独自の発展を遂げてきた。

大陸と島国の大地がおりなす自然、気候や風土の条件のもとで、都市や牧羊地域を支えるダム・堰・運河などの水資源開発、鉱山開発とともに建設された鉄道など、人々はどのようにして社会の基盤を築いてきたのだろうか。

オーストラリアとニュージーランドを舞台として、日々の暮らしを支える土木技術が、歴史とともにどう歩んできたのか。その足跡に触れながら、両国の発展に貢献し、現在でもなお使い続けられているインフラ施設を訪ねる。



オーストラリア連邦 (Australia)

- ① 人口：約2,405万人（2016年3月：豪州統計局）
- ② 面積：769万2,024 km²（日本の約20倍、アラスカを除くアメリカと同じ）（ジオサイエンス・オーストラリア）
- ③ 首都：キャンベラ（人口約39.3万人、2015年：豪州統計局）
- ④ 民族：アングロサクソン系等欧州系が中心。その他に中東系、アジア系、先住民など
- ⑤ 言語：英語
- ⑥ 宗教：キリスト教61%、無宗教22%（2011年：国勢調査）
- ⑦ GDP：1兆2,239億米ドル（2015年：IMF World Economic Outlook April 2016）



ニュージーランド (New Zealand)

- ① 人口：約424万人（2013年：国勢調査）
- ② 面積：27万534 km²（日本の約3/4）
- ③ 首都：ウェリントン（人口約20万人、2013年：国勢調査）
- ④ 民族：欧州系74%、マオリ系14.9%、太平洋島嶼国系7.4%、アジア系11.8%、その他1.7%（2013年：国勢調査。複数回答者が存在し合計は100%超）
- ⑤ 言語：英語、マオリ語、手話（2006年より）
- ⑥ 宗教：信仰を持っている国民の48.9%がキリスト教徒（2013年：国勢調査）
- ⑦ GDP：1,722億米ドル（2016年：IMF）

- ① オーストラリア（キャンベラ）
- ② キリバス（タラワ）
- ③ クック諸島（アバルア）
- ④ サモア（アピア）
- ⑤ ソロモン諸島（ホニアラ）
- ⑥ ツバル（フナフティ）
- ⑦ トンガ（ヌクアロファ）
- ⑧ ナウル（無し）
- ⑨ ニウエ（アロフィ）
- ⑩ ニュージーランド（ウェリントン）
- ⑪ バヌアツ（ポートビラ）
- ⑫ パプアニューギニア（ポートモレスビー）
- ⑬ パラオ（マルキョク）
- ⑭ フィジー（スバ）
- ⑮ マーシャル諸島（マジュロ）
- ⑯ ミクロネシア連邦（パリキール）
- () は首都

<参考文献>
「外務省ホームページ」大洋州 (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/pacific.html>)